

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371200714
事業所名	グループホームほっと館なみき

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 敬老会には近くの幼稚園児がホームに訪問し遊戯を披露したり、中学生の体験学習の受け入れや地域にある専門学校での文化祭に出かけるなど地域との交流を行っている。ホームの夏祭りには地域の人が多く訪れ、利用者と一緒に金魚すくいや輪投げを楽しんでいる。認知症カフェの参加人数も増え、今後もさらに地域との交流が深まるよう考えている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2か月に1度、地域住民・利用者・いきいき支援センター職員などと共に情報交換を行っている。震災時の津波避難ビルとしての地域住民の受け入れ、外出行事の場所について、感染症や認知症カフェ開催についてなどの意見や要望を聞き、話し合いを行ってサービス向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 書類の提出などで役所に訪れる機会があり、ホームの情報を伝えたり疑問点の相談を行っている。いきいき支援センターから認知症カフェの依頼があり実施している。認知症マップ作成研修会や区民祭り、市主催の研修にも参加し連携を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「ほっと館だより」を発行し家族に配布することで、ホームでの生活の様子・行事・防災訓練・感染症や介護保険制度についてなどを知らせしている。3か月に1度の計画見直しの際や面会時に家族から意見を聞き取り、要望を言いやすい雰囲気作りにも努めている。	評価 ○
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	○	○	○				